

事業計画書

自令和6年7月1日 至令和7年6月30日

公益財団法人広島平和ライオンズクラブ福祉事業団

世界情勢はウクライナ問題等により、非常に厳しいものがある。また日本の経済も円安傾向が続き、引き続き厳しい状況が続くものと思われる。

また、大手企業を中心に給与の大幅アップが行われる等景気の回復傾向も見られるが、中小企業の景気については依然として厳しいものがある。なお、長期金利は引き続き低水準で推移しそうである。

このため、公益財団法人広島平和ライオンズクラブ福祉事業団の運用益である利息収入が依然として低水準で推移することとなり、当期一般正味財産増減額がマイナスになることが予想され、引き続き苦しい財団運営を強いられそうである。

こうした中、当福祉事業団も公益財団法人に移行して16期目を迎えることとなり、適切な資産運用を図ると同時に、広島平和ライオンズクラブの強力なご支援を仰ぎながら、以下のような事業活動を実施するものとする。

1. 奨学金支給事業について

本年度も、引き続き心身障害児若しくは事故又は災害による遺児の保護育成、自立に関する助成を進めていくこととする。

具体的には、高等学校に通学する心身障害児若しくは事故又は災害による遺児に対し、奨学金（月額12,000円）及び入学時の入学金（50,000円）を助成するものとする。

なお、前年度中に3学年2名が卒業し、新3学年0名、新2学年1名、4月に新1学年3名採用し、計4名に支給事業を行っている。今年度新たに3名の新入生を加え、合計7名の高校生に対して奨学金等を支給するものとする。

2. 基本財産の運用について

本年度は、資産の運用利回りが低水準で推移することが予想される。当財団としては基本財産の運用について安全性を重視しつつ、特定資産については収益性の高いものに切り替えていくことを検討していく必要がある。